

動脈硬化とは

体のすみずみまで酸素や栄養素を運ぶ重要な役割を果たしているのが動脈です。

この動脈が年齢とともに老化し、弾力性が失われて硬くなったり、血管内にさまざまな物質が沈着して血管の内腔がせまくなったりすることで、血液の流れが障害されます。このような状態を動脈硬化といいます。

近年、食生活の欧米化や高齢化に伴い、動脈硬化に起因する疾患（脳梗塞、心筋梗塞、狭心症、大動脈瘤など）が増加しています。動脈硬化を起こすと、血管壁が厚くなったり硬くなったりします。また、プラークと呼ばれるコレステロールなどの塊が血管壁の内側に付き、その一部分がはがれて血栓となります。血栓は血液の流れに乗って脳や心臓・肺などに行くと、脳梗塞や心筋梗塞・肺塞栓症の原因になることもあります。

頸動脈エコー（超音波）検査

頸動脈とは……首の左右にあり、心臓から脳に血液を流す大切な血管です。

超音波により頸動脈の壁の状態や血液の流れ、プラークの有無や大きさの評価をします。その結果をもとに脳梗塞、心筋梗塞、肺塞栓症などの発症リスクを予測することができます。

頭部MRI（核磁気共鳴画像法）検査

体を輪切りにしたような画像を作ることができる方法です。頭部を輪切りにした画像から、脳梗塞などの疾患の有無や脳腫瘍の大きさまで判別することが可能です。この他、脳内出血や脳の萎縮など、様々な脳の状態を調べることができます。

頭部MRA（磁気共鳴血管撮影）検査

MRIの一種です。血管のみを立体的に抽出した画像を作ることができる方法です。血管のようすから、脳動脈硬化の進み具合や血管内部の閉塞・狭窄、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤などを調べることができます。

血圧脈派検査（動脈硬化検査）

上腕と足首の血圧を測定し、心臓から出た拍動の血管内の伝わり方や、腕と足の血圧の比を算出する検査です。動脈硬化の程度を数値として表すことができます。ABI（足関節上腕血圧比）は、足の動脈の詰まりの程度を表しています。数値が低くなるにしたがって、狭窄や閉塞の可能性が高くなります。CAVI（心臓足首血管指数）は、動脈の硬さの程度を表しています。動脈硬化が進行するほど数値は高くなります。